



ファイブスター投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2266 号
一般社団法人投資信託協会 加入
一般社団法人日本投資顧問業協会 加入

2025 年 4 月 7 日

受益者様ご各位

ファイブスター投信投資顧問株式会社

弊社ファンドの基準価額下落について（投資対象地域：国内のファンド）

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本日（2025 年 4 月 7 日）の基準価額が、2025 年 4 月 4 日の基準価額に比べ 5%以上下落したファンドがありましたのでお知らせいたします。合わせて、基準価額の下落の要因と今後の展望についてご報告いたします。

(1) 基準価額が前営業日比 5%以上下落したファンド

ファンド名	4月4日 基準価額	4月7日 基準価額	前営業日比 騰落幅	前営業日比 騰落率
MASAMITSU 日本株戦略ファンド	19,267 円	17,857 円	▲1,410 円	▲7.32%
日本株ロングショート戦略フ ァンド（愛称：いつつぼし）	9,370 円	8,794 円	▲576 円	▲6.15%
MASAMITSU 日本株戦略ファンド（DC 向け）	11,606 円	10,755 円	▲851 円	▲7.33%
資本効率向上ファンド （愛称：TOB ハンター）	9,388 円	8,721 円	▲667 円	▲7.10%

(2) 国内株式相場

指数名	4月4日	4月7日	前営業日比 騰落幅	前営業日比 騰落率
東証株価指数（TOPIX）	2,482.06	2,288.66	▲193.40	▲7.79%
日経平均株価指数	33,780.58	31,136.58	▲2,644.00	▲7.83%
東証グロース市場 250 指数	597.38	534.55	▲62.83	▲10.52%

(3) 基準価額の下落の要因について

日本株式市場は、トランプ大統領の相互関税発動に端を発した世界同時株安の影響を受けて



調整色が強まっております。

本日の日本株式市場は、全面安の展開となりました。セクター別では(東証 33 業種) 全 33 業種が下落し、非鉄金属業が▲13.57%、保険業が▲11.80%、証券・商品先物取引業が▲10.72%と、非鉄金属の他、金融関連株の下落が目立ちました。一方、食料品が▲4.73%、陸運業が▲4.85%、ゴム製品が▲4.89%が上位となりました。前営業日(4月4日)の米国株式市場は、中国が米国に報復関税を課すと伝わり、貿易戦争激化懸念が広がる中、トランプ大統領の関税政策によるインフレ再燃が警戒され、S&P500 種株価指数は前日比▲5.97%、ナスダック総合指数は前日比▲5.82%、フィラデルフィア半導体指数(SOX 指数)は▲7.60%と続落しました。米国株安の流れを受けて本日の日本株式市場は大幅下落となり、ファンドの基準価額が下落しました。

(4) 今後の展望について

4月に入って既に東証株価指数(TOPIX)で▲13.9%下落しました。弊社では、今年に入って、①米国のリセッションやスタグフレーションのリスク台頭の可能性、②GPUと生成AIの技術革新による米半導体大手エヌビディアを始めとするマグニフィセント・セブン(米国株式市場を牽引する、アルファベット、アップル、メタ・プラットフォームズ、アマゾン・ドット・コム、マイクロソフト、テスラ、エヌビディアの主要テクノロジー企業7社)凋落のリスク、③世界的な関税の掛け合い、④日銀の強い利上げスタンス、から軟調な株価を予想しておりました。それとの対比では、株価下落に意外感はありませんが、その下落速度が弊社の予想を超えています。

また、今年前半は、関税と日銀の強い利上げスタンスがただでさえ企業業績の重しになる中で、4~5月の決算発表期において、企業が弱気の業績ガイダンスを出す公算も高まっていることから、低迷する株価が浮揚するイメージを描きにくくなっています。

ただ、トランプ政権の目標が、インフレ抑制、雇用環境維持、中間選挙の勝利と目される中、来年までを見据えれば減税策の打ち出しなど金融市場に寄り添った形の政策運営がなされることが期待されます。そうであれば、日本企業のEPS(一株当たり純利益)5~10%成長が続き、年末にかけて日経平均株価が4万円近くまで戻すというシナリオの維持は今でも可能と考えております。

以上を踏まえると、当面は値動きの荒い展開が予想されますし、株価の下値リスクも顕在化しつつありますので、引き続き市場動向等を注視しながらやや保守的な運用を心掛けますが、各ファンドの基本的な運用方針に変更はありません。市場の回復の萌芽が見られたら即座に強気ポジションに戻すことも視野に置いた上で、柔軟な運用を行って参ります。

以上

【投資信託に係るリスク・費用について】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、受益者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。投資信託の信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。内容・リスクを十分にご理解の上、お申込ください。詳しくは、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください。

●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ◆ お客さまが直接的にご負担いただく費用

【ご購入時の費用】 上限 3.30%(税込)

【ご換金時の費用】 信託財産留保額 上限 0.30%

- ◆ お客さまが信託財産で間接的にご負担いただく費用

【運用管理费用(信託報酬)】 上限 年率 2.365%(税込)

※ 上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

【その他の費用・手数料】 上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他の費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用(上限額等を含む)を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ファイブスター投信投資顧問株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なります。ご投資をされる際には、個別商品の詳細について、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。

【その他の留意事項】

- 本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した情報提供を目的とする資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご確認のうえ、お客さまご自身でご判断ください。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 本資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証あるいは示唆するものではありません。また、原則として表示桁数未満を四捨五入しています。記載内容は作成時点のもので、予告なく変更する場合があります。
- 本資料に記載された過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。記載された指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。

【委託会社の照会先】

ファイブスター投信投資顧問株式会社

金融商品取引業 関東財務局(金商) 第 2266 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

お客様デスク 03-3553-8711 受付時間：午前 9 時～午後 5 時まで（土・日・祝日・12 月 31 日～1 月 3 日を除く）

ホームページアドレス <https://www.fivestar-am.co.jp/>